

自販機上設置用3面LEDビジョン『トライビジョンLED』

空間価値を最大化する『自販機上』活用術

自販機上のスペースを広告塔へ転換し、集客強化と副収益創出を同時に実現する新たなプロモーション手法が注目を集めている。

**デッドスペースが
集客・収益メディアに**

パチンコホールに数多く設置されている自動販売機。その上部はこれまで、活用されることがなく放置されてきた空間のひとつ。

つだ。だが、そのデッドスペースを強力な広告媒体へと転換する新発想の製品がある。自販機上設置型3面LEDビジョン『トライビジョンLED』である。

設置方法はシンプルで大掛かりな工事は不要。自販機上に設

置するだけで、正面・左右の三方向に情報を発信できる。新台情報やおすすめ機種、イベント告知などを立体的に訴求できるため、これまで壁面ポスターや

平面サイネージでは届きにくかった角度からも視線を獲得する。



自販機上というデッドスペースに設置するだけで、たちまち広告塔へと変貌させる『トライビジョンLED』。新台情報、おすすめ機種、来店取材などの自店告知だけでなく、外部広告の掲出にも対応しており、副収益も創出する。屋内・屋外どちらでも運用可能。

高輝度LEDによって視認性は抜群で、屋内はもちろん屋外設置にも対応。3面ディスプレイの特性を活かせば「新宿東口の猫」のような立体映像演出も可能で、単なる情報表示を超え、アイキャッチとしての機能も発揮する。

さらに、このビジョンは自店告知にとどまらない。外部広告の掲出にも対応しており、広告媒体として活用すれば副収益の創出も視野に入る。販促ツールでありながら、収益メディアへと転換できる点は、経営上の大きな魅力となるだろう。

「未活用空間を広告塔へ」。集客強化と収益化を同時に実現する新時代のプロモーションツールとして、『トライビジョンLED』は、ホールの空間戦略を一段引き上げる存在となり得る。



3面ディスプレイの特性を活かせば、「新宿東口の猫」のような立体映像演出もお手の物。

経営支援特集 GW商戦向け販促特集